

令和5年4月1日

長崎リハビリテーション学院
学院長 鳥山 雅之 殿

学校関係者評価委員会
委員長 美野田 哲夫

令和4年度 学校関係者評価報告について

令和4年度自己評価に対する学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 山下 均 (鈴木病院 リハビリテーション科科長 理学療法士)
- ② 岩永真仁 (南野病院 リハビリテーション科科長 作業療法士)
- ③ 福田優希 (長崎みなとメディカルセンター市民病院 言語聴覚士)
- ④ 平野英三 (元同窓会会長 愛野記念病院)、副委員長
- ⑤ 橋口研一 (大村市赤佐古町 町内会長)
- ⑥ 田川茂樹 (長崎県立大村高等学校 教頭)
- ⑦ 美野田哲夫 (元長崎県教育庁)、委員長

2 学校関係者評価委員会の開催状況

第3回委員会 令和5年3月28日 (会場 長崎リハビリテーション学院)

3 学校関係者評価報告

別紙のとおり

以上

I 重点目標について

1 重点目標1. について

学校広報および募集広報は、例年と同じ取組に加え、受験者へ届く広報としてダイレクトメールやデジタルサイネージ、STの動画作成とそのYouTubeへの掲載など新規の取組が行われた。入学者が目標数値に達しなかったことについては、原因分析をして次年度につなげてほしい。選抜試験は募集要項にもとづき、適正に実施されている。

2 重点目標2. について

ICT教育を受けた学生が入学する2025年度を目標にICT教育整備を推進しているが、今年度は全館Wi-Fi整備が完了し、活用に向けた研修がスタートするなど計画に沿って取り組んでいる。教員間の教授力に差が生じないよう今後も全学的な取組を期待したい。学生ボランティアや部活動は、昨年度より活動回数は増えたもののコロナ禍前のレベルに至っていないとのことであるが、元に戻るという発想でなく新しいものとして取り組んでほしい。就職に関しては全国からの求人があり、多くの学生が第1希望の施設に就職できているとのことである。困難は伴うと思われるが、転退学防止に向けてより一層取り組んでほしい。

3 重点目標3. について

言語療法学科は2023年の指定規則改正に向け準備・対応している。臨床実習の評価に全学科オスキーを導入し実習中の躓き解消につながっている。

国家試験合格率は、前年度より向上した学科と低下した学科があったが、今後も高いレベルを維持できるよう取り組んでほしい。

II 各評価項目について

1 教育理念・目的・人材育成像

教育理念・育成人材像を掲げて取り組んでいる。理学・作業療法学科は新教育課程が2020年度入学者より適用され完成年度であった。言語療法学科は2023年指定規則改正にむけ準備している。ICT推進委員会発足後、2年が経過し計画的に取り組んでいる。

2 学校運営

年間目標を掲げ、その具体的目標の達成に向けて取り組んだ。運営の組織体制は整っており、意思決定は其中で行われ、本部承認を得て実行している。情報システムは、遠隔授業や学内実習、資料配布や会議等で活用されており、今後はさらに効果的かつ適切に使用するための研修会やルール策定・運用を行っていく。コロナ感染症対策として、感染状況に応じた活動制限を行い、学内クラスターの発生を予防し教育活動を継続することができた。

3 教育活動

教育課程については随時各学科で協議しながら、教育課程編成委員会（年2回）や運営会議、学科長会で検討している。キャリア教育は時間を設けて指導を行っている。成績評価及び単位認定は、学生用覧にもとづき評価し判定会議で決定している。成績不良者に対しては、主体的に学習に取り組むように、定期的に面談を行い学習状況・意欲の把握を行った上で試験を受けさせるといった全学科統一した指導を行っている。転退学者の軽減につながるような取組を期待したい。感染症関連で追試の対象者が多くスケジュール作成に苦慮したが各部署の連携により乗り切ることができた。

4 学修成果

求人数は前年度より増加しているが、現時点で就職が決定していない者がおり、今後も就職率100%に向け指導を継続する。就職先の評価では回答率が前年度より上がっており卒業生が評価されていることの表れではないか。一方、コミュニケーションスキルが不足している点については学内での教育が求められる。国家試験対策は、1、2年生の早期から取り組んでいるが、さらなる合格率の向上につながる指導を期待したい。

5 学生支援

学生相談室は予約制で、学生の相談内容については、プライバシーに配慮しながら必要に応じて担任や学科教員と連携して対応している。教員からの紹介で学生相談室を利用する学生もいる。保護者面談は概ね好評を得ており、学院への意見を吸収する良い場になっている。転退学者の数が前年度より増えていることから、近年学生が抱えている問題は、学業面、体調面、経済面と多面的で支援には困難が予想されるが、課題を早期に把握し支援する体制を整えてほしい。コロナ禍のため同窓会活動が難しい状況であったが、まずはHPにおいて同窓会専用のページの活用から始めてみてはどうか。

6 教育環境

独立型図書館の1階カフェテリアの一角に購買部が設置され、弁当や文房具類の販売が行われ学生が利用しやすいよう工夫されている。特に本館の老朽化している箇所への補修等が行われている。臨床実習は、コロナ禍の中にも受け入れがあり、概ね予定通り実施することが出来た。今後も実習施設とは連携のとれた教育ができるよう信頼関係を構築していく必要がある。防災訓練は「学校避難確保計画」を策定し年1回の訓練を実施している。土砂災害リスクのある斜面地への対応について検討が求められる。

7 学生の募集と受入れ

高校訪問や学校ガイダンスなど例年の取組に加え、動画制作やデジタルサイネージ、SNS広告、DMなど新規に取り組んだが、入学者は目標数を下回った。少子化の影響は大きいですが、引き続き効果的な募集活動に取り組んでほしい。高校訪問では、高校側の進路指導に活かされる情報提供を積極的に行ってほしい。選抜試験は募集要項にもとづいて適正に実施できた。

8 財務

財務は健全性と安全性を重視するところで、前年度と同様の対応となっている。

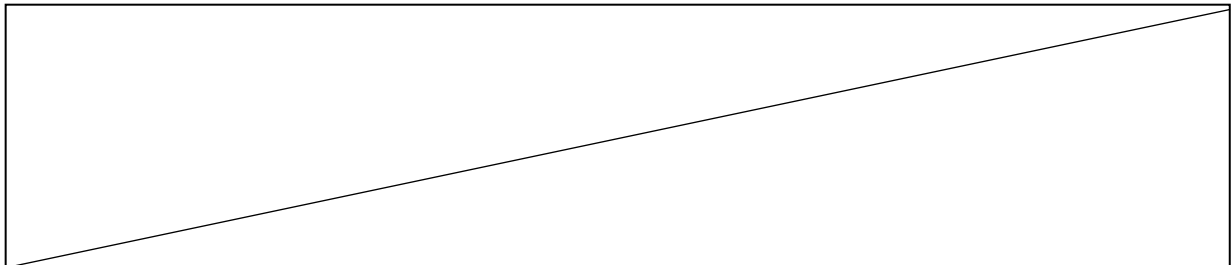
9 法令等の遵守

専修学校設置基準および養成施設指定規則等の関係法令にもとづき、就業規則はじめ学院組織運営規程等を整備し適正な運用がなされている。相談窓口について、学生は「学生相談室」、教職員向けに「向陽学園職員相談窓口」を設置している。個人情報保護については電子メール利用ガイドラインについて職員への周知・徹底を図っている。組織体制の整備及び自己評価を実施し、必要事項についてホームページに公表している。

10 社会貢献・地域貢献

高等学校生徒の学校見学会の受け入れ（3件）や無料の出前講座（現地4件・オンライン1件）などへ教員を派遣し、職業指導や進路指導に協力した。コロナ禍も収束に向かい、学生ボランティアの依頼も少しずつ増えてきており、今年度は延13人の学生が地域から依頼のボランティアに参加した。地域からの評判は良いと聞いているので、今後も地域貢献活動は継続してほしい。

11 国際交流 ※学校から必要がある項目として提示された場合



学校関係者評価

※評語の意味

- 4 適切に対応している。課題の発見に積極的で今後さらに向上させるための意欲がある。
 3 ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取組みが期待される。
 2 対応が十分でなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取組む必要がある。
 1 全く対応をしておらず不適切。学校の方針から見直す必要がある。

1) 項目1：理念・目的・育成人材像

	項目	自己評価	学校関係者評価
1-1-1	理念・目的・育成人材像は、定められているか	4	4
1-1-2	育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4	4
1-1-3	理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4	4
1-1-4	社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4	4

2) 項目2：学校運営

	項目	自己評価	学校関係者評価
2-2-1	理念等に沿った運営方針を定めているか	4	4
2-3-1	理念等を達成するための事業計画を定めているか	4	4
2-4-1	設置法人は組織運営を適切に行っているか	4	4
2-4-2	学校運営のための組織を整備しているか	4	4
2-5-1	人事・給与に関する制度を整備しているか	3	3
2-6-1	意思決定システムを整備しているか	4	4
2-7-1	情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	4	4

3) 項目3：教育活動

	項目	自己評価	学校関係者評価
3-8-1	理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	4	4
3-8-2	学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4	4
3-9-1	教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4	4
3-9-2	教育課程について外部の意見を反映しているか	4	4
3-9-3	キャリア教育を実施しているか	4	4
3-9-4	授業評価を実施しているか	4	4

3-10-1	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4	4
3-10-2	各種科目試験は適切に行えているか	4	4
3-10-3	講義や実習の運営は適切に行えているか	4	4
3-10-4	学籍管理は適切に行えているか	4	4
3-11-1	目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	4	4
3-11-2	資格・免許取得の指導体制はあるか	4	4
3-12-1	資格・要件を備えた教員を確保しているか	4	4
3-12-2	教員の資質向上への取組みを行っているか	4	4
3-12-3	教員の組織体制を整備しているか	4	4

4) 項目 4 : 学修成果

	項目	自己 評価	学校関係 者評価
4-13-1	就職率の向上が図られているか	4	4
4-14-1	資格・免許取得率の向上が図られているか	4	4
4-15-1	卒業生の社会的評価を把握しているか	4	4

5) 項目 5 : 学生支援

	項目	自己 評価	学校関係 者評価
5-16-1	就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	4	4
5-17-1	退学率の低減が図られているか	3	3
5-18-1	学生相談に関する体制を整備しているか	4	4
5-19-1	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	4	4
5-19-2	学生の健康管理を行う体制を整備しているか	4	4
5-19-3	課外活動に対する支援体制を整備しているか	4	4
5-20-1	保護者との連携体制を構築しているか	4	4
5-21-1	卒業生への支援体制を整備しているか	3	3
5-21-2	産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	4	4
5-21-3	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	4	4

6) 項目 6 : 教育環境

	項目	自己 評価	学校関係 者評価
6-22-1	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4	4

6-23-1	学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	4	4
6-24-1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	4	4
6-24-2	学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	4	4

7) 項目 7 : 学生の募集と受け入れ

	項目	自己 評価	学校関係 者評価
7-25-1	高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	4	4
7-25-2	学生募集を適切、かつ、効果的に行っているか	3	3
7-26-1	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	4	4
7-26-2	入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	4	4
7-27-1	経費内容に対応し、学納金を算定しているか	4	4
7-27-2	入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱いを行っているか	4	4

8) 項目 8 : 財務

	項目	自己 評価	学校関係 者評価
8-28-1	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	4	4
8-28-2	学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	4	4
8-29-1	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	4	4
8-29-2	予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4	4
8-30-1	私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	4	4
8-31-1	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	3	3

9) 項目 9 : 法令等の遵守

	項目	自己 評価	学校関係 者評価
9-32-1	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4	4
9-33-1	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4	4
9-34-1	自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	4	4
9-34-2	自己評価結果を公表しているか	4	4
9-34-3	学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	4	4
9-34-4	学校関係者評価結果を公表しているか	4	4
9-35-1	教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	4	4

10) 項目10：社会貢献・地域貢献

	項目	自己 評価	学校関係 者評価
10-36-1	学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	4
10-37-1	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	3	3